

講師紹介

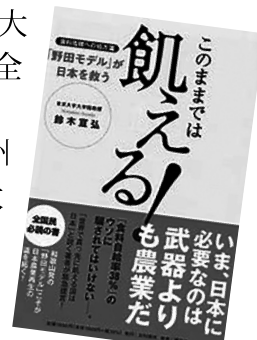
鈴木 宣弘 (すずき のぶひろ)



農業経済学と国際経済学が専門。東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授。「食糧安全保障推進財団」理事長。

東京大学卒業後、農林水産省に入省。九州大学院教授などを経て、2006年から東京大学教授。博士(農学・東京大学)。

食の安全保障、食の安全、食糧自給などに関して日本の危機を訴え、食糧安全保障、自給率向上、オーガニック推進の立場から専門的発言を続けてこられました。



<著書>『世界で最初に飢えるのは日本』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』『農業消滅—TPP批准・農協解体がもたらす未来』など多数。メディア出演多数。

食の安全と安定を求めて！

海外の戦争や気候変動で食料や肥料の輸入が不安定になり、米の不足が起き、食料農業農村基本法の改定などで日本の農と食料は大きな変化を迎えようとしています。我々は安全な食料を安定して確保するため、農と食のため、今、何ができるのか？
食と農の第一人者からの情報提供と提言です。

*席に余裕がある場合には当日入場可能です。会費は当日受付払い)



*車をご利用の方は伊勢原駅北口にある市営駐車場等をご利用下さい



伊勢原駅北口徒歩 8 分。
246 伊勢原交差点徒歩 7 分

主催：タネと水を守る県央市民の会

共同代表：<秦野市> 内藤忠彦 <伊勢原市> 石倉友二 <厚木市> 杉山隆泰

共催：TPP とグローバリズムを考える市民の会

いせはら環境ネットワーク

後援：伊勢原市教育委員会 秦野市教育委員会

あつぎ環境市民の会 厚木自然栽培農学校「菊子自然&有機農園」 IOP(いせはらオーガニックプロジェクト)